

NEWS

第9回のOECD_IWG会合に参加しました

2019.5.22-24

2019年5月22日～24日にカナダ、ブリティッシュ・コロンビア州のバンクーバーにて、OECD the Future of Education and Skills 2030事業（以下E2030事業）による第9回Informal Working Group Meeting（以下IWG会議）が開催されました。会議には21ヶ国から参加者が集まり、日本代表の一員として機構からは柄本健太郎講師が参加しました。E2030事業は年2回のIWG会議を通じ、各国の政府関係者・教師・高校生・大学生・研究者の間の積極的な議論・合意形成を図っています。会期一日目にはPhase 1（2015～2018）の成果として「学びの羅針盤（The OECD Learning Compass 2030）」というコンピテンシーの概念枠組みが、E2030事業の新HPと共に発表されました。なお、新HPには、日本からの提案として、東京学芸大学が提供し、採択された3つの授業実践映像が組み込まれています。

- ◆中学校国語：生徒エージェンシーに関する映像
- ◆中学校理科：見通し、行動、振り返りのサイクル（AAR Cycle: Anticipation, Action and Reflection）に関する映像
- ◆中学校家庭科：変革を起こす力のあるコンピテンシー（Transformative competencies）の一つである、責任ある行動をとる力（Taking Responsibility）に関する映像
（詳細は当機構HPの「お知らせ&イベント」の記事「第9回OECD Informal Working Group Meeting（IWG）が開催されました」をご覧ください。）



OECD Learning Compass 2030
（出典：http://www.oecd.org/education/2030-project/teaching-and-learning/learning/）

NEWS

第10回のOECD_IWG会合に参加しました

2019.10.23-25

2019年10月23日～25日に韓国のイルサンとソウルにて、第10回Informal Working Group Meeting（以下IWG）が開催され、機構から松尾直博教授と長谷川友香特命講師が参加しました。

前回の第9回IWGで「学びの羅針盤（The OECD Learning Compass 2030）」というコンピテンシーの概念枠組みが発表されました。それを受けて第10回のIWG会合では、カリキュラム改訂をよりよい教育の実現に結びつけるために、指導方法 pedagogy と評価 assessment をどのように繋げていけばよいか、それぞれの国や地域の実情、課題、挑戦、成果などについて、活発な意見交換が行われました。また、生徒のエージェンシーとウェルビーイングに加えて、教師のエージェンシーとウェルビーイングについても焦点を当てるディスカッションが行われました。次回のIWGに向けては、今後ますます教師教育（教員養成や教師の職能開発）が重要なテーマになっていくことが予想されます。



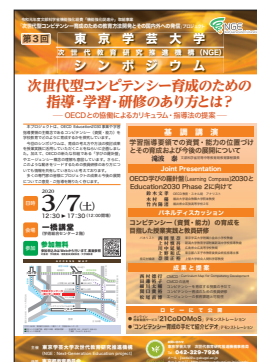
第10回OECD_IWG会合の様子

INFORMATION

第3回次世代教育研究推進機構シンポジウムの開催方法を変更します

2020年3月7日（土）に開催を予定していましたが第3回次世代教育研究機構シンポジウム（「次世代型コンピテンシー育成のための指導・学習・研修のありかたとは？：OECDとの協働によるカリキュラム・指導法の提案」）は、ご参加の皆様安全に配慮して、一橋講堂大ホールにお集まり頂いての開催を

変更いたしました。一橋講堂では実施せず、今後、機構のHome Pageを活用して、当日の発表や話題内容を発信していくことにしました。現在、発信の準備を行っており、準備が整ったコンテンツから順次発信していきます。



REPORT 授業動画システム21CoDOMoSを活用した講習を行いました

2019年8月19日、教員免許状更新講習にて、21CoDOMoSを使ったコンピテンシー育成に関する講習を行いました。講習の担当は、当機構・研修WG代表の関口貴裕（教育心理学）を中心に、宮内卓也（次世代教育研究センター）、鈴木聡（体育科教育）、大谷忠（技術科教育）、山田一美（美術科教育）、雨宮沙織（次世代教育研究推進機構）の各教員で、38名の小・中・高等学校の先生方が参加されました。

講習では、「子どもたちに育成すべき資質・能力とは」に関する講義のあと、解説をまじえながら21CoDOMoSを用いたコンピテンシー育成に関する授業（中学理科、体育）の動画を視聴しました。その後、教員をファシリテーターとして、子どもたちに「協働する力」「問題解決力・先を見通す力」「受容・共感・敬意」「好奇心・探究心」といった力やマインドを育成するには、授業の中にどのような工夫や手立てを入れることが重要であるかについて、

授業動画を参考にワールドカフェ方式で議論をしました。

最後に、議論の内容をもとに、各自がコンピテンシーを育成する授業についての授業案を作成し、相互評価を行いました。コンピテンシーの育成について一日にわたり考えることで、「コンピテンシー育成に関する理解が深まった」「充実した講習であった」などの声が多く寄せられました。当機構では、今後もこうした形でプロジェクトの成果を研修の形で教育現場に発信していく予定です。



免許状更新講習にて21CoDOMoSを活用中

REPORT ホームページにて、プロジェクトの成果であるビデオ教材を多数公開しています

本プロジェクトの成果として、2つのビデオ教材をホームページにて公開しています (<http://www.u-gakugei.ac.jp/~jisedai/outcomes/>)。

1つ目は、「コンピテンシー育成のための授業の手立て」解説ビデオです。今の子ども達が2030年の世界でよりよく社会や世界と関わり、よりよい人生を送るために必要なコンピテンシー（資質・能力）として提案されているものの中から、代表的なものを取り上げました。そして、実際の授業の中でそれらを育成するには、どのような準備や工夫、課題設定をしたらよいかの「手だて」を、実際の授業の映像を交えて解説するビデオを作成しました。現在は、「批判的思考力」「好奇心・探究心」の2つについて日本語と英語で解説しています。

2つ目は、「OECD 学びのコンパス2030」に対応した授業事例のショートビデオです。OECDが提案する2030年の世界を生きる子どもたちに必要な力の枠組み「学びのコンパス2030」に準拠して、それぞれの力を育成する授業の事例を5分程度のショートビデオにまとめたものです。ぜひご視聴・ご活用下さい。



関口貴裕教授による、批判的思考力育成の手だてを解説したビデオ

NEWS 附属世田谷中学校公開授業の映像を授業動画システム21CoDOMoSにて視聴できるようにしました

2019.6.15

2019年6月15日に、東京学芸大学附属世田谷中学校にて公開研究会が開催されました。機構では、世田谷中学校と協議の上、公開研究会での公開授業を動画配信システム21CoDOMoS (<http://www.u-gakugei.ac.jp/~jisedai/21CoDOMoS/index.html>)にて配信し、全国の多くの先生がたに附属学校の授業取組を紹介することにしました。紹介する授業は、菊池智美教諭（英語科）、篠塚昭司教諭（社会科）、峰野宏祐教諭（数学科）の3授業です。映像は、授業の1校時分全授業とともに、研究協議会での授業者の自評、指導助言者の先生のコメントもすべて参照することができ、公開授業に参加した場合と近い状況を体験することができます。機構では、附属世田谷中学校に引き続き、1月25日の附属小金井小学校研究発表会での2つの授業（岸野存宏教諭・根本徹教諭、いずれも社会科）の公開準備を進めております。



附属世田谷中学校篠塚昭司教諭による社会科（公民的分野）の授業（中学3年生）と荒井正剛教授（社会科教育）によるコメント

NEWS

第3回 ISN2.0 研究会, 第4回 ISN2.0 研究会が開催されました

2019.3.16/8.19

OECD日本イノベーション教育ネットワーク (ISN2.0) (Japan Innovative Schools Network supported by OECD) 主催による第3回 ISN2.0 研究会が, 2019年 (平成31年) 3月16日に東京大学本郷キャンパス, 3月17日に郁文館グローバル高等学校 (共に東京都文京区) にて開催されました。会では, 今後の事業展開や研究の進捗が関係者によって共有・議論されました。機構からは, 柄本健太郎講師が Agency に関する分科会のファシリテーターとして参加し, 福島大学の坂本篤史准教授, 新潟大学教育学部附属新潟中学校の上村慎吾教諭と共に発表を行い, 日本における Agency について参加者と議論を交わしました。

引き続き, 第4回 ISN2.0 研究会が, 2019年 (令和元年) 8月19日・20日に福島大学 (福島県福島市) にて開催されました。研究会では, OECD The Future of Education and Skills 2030 事業の主催会議の参加者報告, 「OECD ラーニングコンパス2030」概念の高校生・教師・行政

関係者等との混合グループによる検討が行われました。機構からは柄本健太郎講師と長谷川友香特命講師が議論に参加しました。また, 柄本講師は二日目に Agency に関する分科会のファシリテーターとなり, 福島大学の坂本篤史准教授, 福井大学教育学部附属義務教育学校の柳本一休教諭と発表を行い, 参加者と議論を交わしました。



第4回 ISN2.0 研究会のディスカッションの様子

NEWS

日本学校保健学会第66回学術大会にて講演を行いました

2019.11.30

2019年11月30日に, 日本学校保健学会第66回学術大会 (学会長: 朝倉隆司 (東京学芸大学)) が国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催されました。大会では, 岸学プロジェクトマネージャーによる教育講演「次世代の日本と世界を担う人づくり—OECD と東京学芸大学による新たな教育モデルの開発」が行われました。

講演では, OECD の Education2030 や Learning Compass の動向を紹介するとともに, 学習指導要領に基づく Competency (資質・能力) の育成について取り組みが紹介されますとともに, 学校保健学を専門とする多くの先生方との間で活発な質疑応答が交わされました。



NEWS

広島県立広高等学校 (呉市) の「課題発見・解決学習推進プロジェクト」活動を支援しています

2019.11.8

広島県教育委員会では, 「高等学校課題発見・解決学習推進プロジェクト」に重点的に取り組んでいます。その研究開発校である広島県立広高等学校では, 本年度『『探究的な学び』を基底にした主体的・協働的な活動を通じてコンピテンシーを育む学習方法の開発』をテーマに, 2019年11月8日 (金) 公開研究会が行なわれました。機構では, 要請を受けて2018年度から広高校の

活動を支援しており, 今回は, 公開研究会にて「探究活動の評価」(鎌田正裕教授), 「OECD によるコンピテンシー検討の動向」(岸学名誉教授) の講演を行いました。また, 生徒のグループワーク探究活動について雨宮沙織助教より指導・講評を行いました。2020年度も引き続きさまざまな繋がりを実践していく予定です。



生徒の探究グループ発表に対する雨宮沙織助教からの講評

NEWS

OECD 教育スキル局の田熊美保氏が来訪されました

2019.6.19

2019年6月19日に, OECD 教育スキル局シニアアナリスト田熊美保氏が, 文部科学省初中等教育局財務課鈴木文孝課長補佐 (現 OECD アナリスト), 大臣官房国際課堀尾多香課長補佐とともに来訪しました。一行は, 附属国際中等教育学校にて授業を参観し, 荻野勉校長と懇談しました。その後, 大学にて出口利定学長, 日向信和理事・事務局長らと, 次に, 次世代教育

研究推進機構プロジェクトのWG1~4の各代表 (細川太輔准教授・西村德行准教授・関口貴裕教授・松尾直博教授) らと機構が実践している成果の説明および意見交換を行いました。話し合いでは, OECD 加盟国の授業実践の考え方の比較, 成果の国際発信の際の留意点, 授業映像配信システム21CoDOMoSに対する期待などが中心話題となりました。



OECD と機構との会合に出席したメンバー (前列左から2人目が田熊シニアアナリスト, 最右が鈴木課長補佐, 2列目最左が堀尾課長補佐)

NEWS

2019.12.7

道徳授業スキルアップセミナーを開催しました

2019年12月7日、道徳授業スキルアップの第4回セミナーが、約90名の先生方のご参加をいただいて東京学芸大学合同棟大教室にて開催されました。セミナーでは、夏季セミナー時に実施したアンケート集計より、道

徳教科書の使用開始に伴う意識の変化の結果などが専門研究員より報告されました。また、PISA調査に見えた課題に重ね、次世代を見据えた新しい道徳授業の方向性についての講話が強い関心を呼びました。



スキルアップセミナーでの松尾直博教授による講演

NEWS

附属大泉小学校での「探究科」取組の様子です

附属大泉小学校では、今年度、「探究科」で育む資質・能力について、児童の自己評価活動を促すルーブリックの様式と、学習指導過程における教師のルーブリックの取り扱い方、の2つの研究を実施しています。

1つ目については、校内研究会にて資質・能力の見直しが行われたことから、それを受けて、新

旧の資質・能力の関連について探るために質問紙調査を行いました。2つ目については、学習指導過程において教師はどのようにルーブリックを活用するのか、また、児童はどのように使用するのかを知るために、授業観察によって検討を行っています。



探究の授業を実施する上田真也教諭

NEWS

授業を通じたコンピテンシー育成の取り組みをe-learning方式の免許状更新講習にて実施しました

機構では、2019年度に、公益財団法人才能開発教育研究財団主催のe-learning方式による免許更新講習を実施致しました。講習タイトルは「子どもたちの未来に役立つコンピテンシー（資質・能力）を育てよう：授業実践を通じて」で、次世代教育プロジェクトで取り組んでいるコンピテンシー（資質・能力）育成の授業のあり方を、映像配信システム21CoDOMoSを活用しながら解説していきました。2019年4月に、選択必修の講習としてスタートしています。講習講師は相田隆司

教授（美術科教育）、荒井正剛教授（社会科教育）、鎌田正裕教授（理科教育）、鈴木聡教授（体育科教育）、西村德行准教授（美術科教育）、細川太輔准教授（国語科教育）、岸学Project Managerの7名です。2019年度は、全部で2001名の受講者に講習を実施しました。なお、2020年度も同様の内容とスタッフで講習を実施する予定です。

講習の申し込みは、<http://www.sainou.or.jp/> e-learning です。



e-learning講習収録の様子（細川太輔准教授）

INFORMATION

ホームページをリニューアルしました

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~jisedai>

どうぞご覧ください



Gakugei

NGE通信 vol.08

2020年3月25日発行
編集／発行元：東京学芸大学 次世代教育研究推進機構
東京都小金井市貫井北町 4-1-1 芸術・スポーツ 4号館 2F

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~jisedai/>

・記事については、右のリンクまたは下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

Mail:jisedai@u-gakugei.ac.jp Tel:042-329-7924

